

※時系列ではなく、内容ごとにいただいたご意見をまとめています。

【学校評価・小中の取組について】

- ・学校評価アンケートについて児童・生徒のものと、保護者のものを4点満点で項目ごとにまとめた。4・3の回答割合が多く、おおむね達成できていると捉えている。(R7学校評価参照)
- ・学力テストは小学校で第3学年に課題があるが、昨年度よりも伸びが見られる。国語を研修課題として先生たちが研鑽を深めてきた成果が国語の学力向上にもつながっている。
- ・小学校は本会の委員の助言もあり、大豆栽培が成功し、100%平野小産大豆を使った味噌づくりを行うことができた。今後もSDGsを絡めて持続可能な取組としていきたい。
- ・小学校は150周年記念式典、こども祭り、わくわくモーモースクールなど、イベントが多かった。子供たちは生き生きと楽しんでいた。
- ・小5と小2に怪我や病気の関係で杖や車いすで生活する児童がいるため、1階に教室を移動した。
- ・中学校では、キャリア教育の研究の成果を「蓮田市教育の日」で発表できた。小5・中2の交流授業も実施でき、平野中ならではの取組が市内の先生方と共有できた。
- ・企業が開発中の手帳のモニターとして、生徒と企業の方々との意見交換の場を持った。非認知能力の育成につながるエビデンスを得ることができた。
- ・蓮田市危機管理課や消防本部、ひらりん消防団などの協力で防災学習を充実させることができた。



- ・トイレの改修工事がほぼ終わった。とてもきれいになった。ぜひ内覧いただきたい。
(委員より) ⇒アンケートについては、小中の項目を合わせるのもよいが、小中それぞれの数値も掲載できるとよい。

(委員より) ⇒年度当初に示した各校のグランドデザインについて、達成率はいかがか。

【学校より】 ⇒細かな課題もあるが、小中共に8~9割の達成と考えている。

小学校については、学力向上が課題。課題となっている算数については、弱点を洗い出して課題を焦点化して、取組を強化したい。

中学校では、将来の夢を探している生徒へのサポートが課題である。今年度の成果と課題を踏まえ、次年度のグランドデザインを新たに示していきたい。

(委員より) ⇒悲観的に見ていたが、達成率が高いので安心した。



中学校「技術」、小学校「図工」などの授業を参観

(委員より) ⇒中学校の手帳について、もう少し詳しく伺いたい。

【学校より】 ⇒企業から2か月間のモニターとして選ばれ、体験することができた。手帳は前期・後期のページ構成である。使ってみた生徒から意見や感想を企業の方に伝えた。座談会では率直な意見がたくさん交わされた。次年度から正式に販売される予定。

(委員より) ⇒いわゆる教師と生徒の「やり取り帳」のイメージでよいか。

【学校より】 ⇒中学生をターゲットにした手帳をイメージしており、常に手元に置いて手帳を使って自分の生活や学習のサイクルをつくっていくことを意図しているとのことである。

(委員より) ⇒タブレット端末の活用率について、今度教えてもらいたい。学力向上は、保護者をどう巻き込むかがポイント。家庭学習の充実が影響してくる。これから生きる子供たちのために学力の大切さを問いかけ、保護者と学校で手を取って取り組んでいけるとよい。

【緑陰学習場、農地について】

(委員より) ⇒緑陰学習場の下草が刈られ、よく手入れされている。木の数も丁度よい。ジョギングコースにするなど活用できるとよい。足で踏めば草が生えにくくなる。

(委員より) ⇒地域にも開放して活用できるとよい。

【学校より】 ⇒中学校の部活動で外周コースになっている。小学校では昆虫採集を行っている。カブトムシがカラスに襲われていたが、今年度は木に囲いをつくって保護した。



(委員より) ⇒平野中の裏側の田んぼについて、現在農地として活用せず、多くが休耕地となっている。現在、大規模な埋め立てを行っている。野菜用の畑になる予定。防災の面でもよくなると考えている。

【小中合同運動会について】

【学校より】 ⇒保護者のアンケートや教育長からの進言もあり、合同開催の適否についてご意見を伺いたい。

(委員より) ⇒私たちが在校生の頃、昔は中学校を会場として合同で実施していた。演目を交互に進めていた。

(委員より) ⇒少ない人数、学級だと常に動いているため、ゆっくり見る余裕がなく応援席がカラになることが多い。合同で実施することで、時間的にも「見る」余裕ができるのでは。

(委員より) ⇒昔だからできたとは言えるが、今の時代に合った行い方を模索できるとよい。

【学校より】 ⇒1日になると長すぎるという意見もある。保護者の考えを集約して検討を進めてみたい。

【全体を通して】

(委員より) ⇒学校がきれい。学級でも子供たちがよく頑張っている。掲示物にも子供たちの力がはっきり映し出されている。「環境が人をつくる」と言うが、人が環境をつくっている。先生方、子供たちがよい環境をつくっているからである。

(委員より) ⇒小中共に取組も発展していつている。今後も継続していけるとよい。

【学校より】 ⇒産経新聞の電子版に平野小中で行っている「架け橋科」の記事が掲載された。

(委員より) ⇒「架け橋科」については、小6と中1だけの取組ではなく、9年間で意識された取組になるよう期待している。

【蓮田市教育委員会より】

- ・学校が見え切れていない課題を出し合えるのも、この協議会のよさである。
- ・この会議を通して解決できた課題もある。本日も数々のご意見が交わされた。委員の皆様も一緒に、地域の力をどのように借りるか橋渡しや協力をこれからもお願いしたい。
- ・次年度はこの平野小中学校の学校運営協議会がモデルとなり、市内の全中学校区で実施される。現在準備中である。今後とも、ご協力いただけたらありがたい。

